

トヨタ純正

ベビーシート

取扱書



1	ご使用にあたって — 2
2	ご使用上の注意 — 3
3	各部の名称 — 4
4	お子様の乗せ方 — 4
5	肩ベルトの調整 — 5
6	車両への 取り付け方 — 6
7	その他 — 9
8	ベビーシート のお手入れ — 10



このたびはトヨタ純正ベビーシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。

お子様の安全のため、ご使用前に必ず本書を読んでいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。

本書は紛失しないよう車の中に保管してください。

なお、本品を他のお客様にお譲りになるときは必ず本書も合わせてお渡してください。

1 ご使用にあたって

安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

ご使用いただけるお子様

体 重 —— 10kg未満
身 長 —— 75cm以下
参考年齢 —— 生後12ヶ月以下

●この条件を満たさないお子様には使用しないでください。

体重10kg以上のお子様にはチャイルドシート・ジュニアシートをご利用ください。



進行方向に対し 必ず後ろ向きにご使用ください

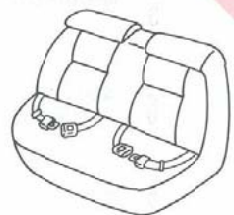


後ろ向き以外ではベビーシートの効果を発揮しません。万一のとき、ケガをするおそれがあり危険です。

この様な座席には使用しないでください

●シートベルトの種類やシートの形状などにより、確実にベビーシートを固定できない場合は使用しないでください。確実に固定できないと、衝突や急ブレーキの際にベビーシートが移動してケガをするおそれがあります。

2点式シートベルトの座席



腰ベルトのみのシートベルト

ベビーシートの座面の前後が車両シート座面に接しない場合又は安定しない座席



3点式シートベルトの上下取り付け部がともに巻取り式の座席



下部の取り付け部が巻取り式になっているもの

《参加》
一般的な3点式シートベルトでは、下部の取り付け部は固定されています。

オートマチックベルトの座席

前席に座ってドアを閉じると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にはずれるシートベルト

○シートベルトが短かく確実に固定できない座席

○シートベルトが無い座席

●SRSエアバッグが装備された座席には使用しないでください。エアバッグの作動によりケガをするおそれがあり危険です。

SRS AIRBAG



2 ご使用上の注意

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことなどを次のマークで表示しています。

⚠ 注意 …………… 注意事項を守らないと、事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどのおそれがあります。

《完了チェック》 …………… 安全のため、最後に必ず確認していただきたいことを記載しています。

💡 アドバイス …………… より安全、快適にご使用いただくうえで知っておいていただきたいことを記載しています。

⚠ 注意

1. ベビーシートにお子様を乗せないときでも、安全のために車両シートベルトで固定してください。固定しないと衝突や急ブレーキの際にベビーシートが移動して、ケガをするおそれがあり危険です。

2. 事故などにより衝撃を受けたベビーシートはふたたび使用しないでください。万一のとき、十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。

3. 車両シートベルト及びベビーシートのベルトを鋭利なもので傷付けないようにご注意ください。万一のとき、ベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。少しでも傷ついた場合は使用しないでください。

4. 走行中は、お子様が誤って車両シートベルトやベビーシートのバックルボタンを押してベルトがはずれることのないよう、ご注意ください。

5. 後席に乗員を乗せる場合はベビーシートを2ドアや3ドア車両の前席、1ボックス車両のセカンドシートには取り付けないでください。後席乗員の緊急脱出に支障となる場合があります。

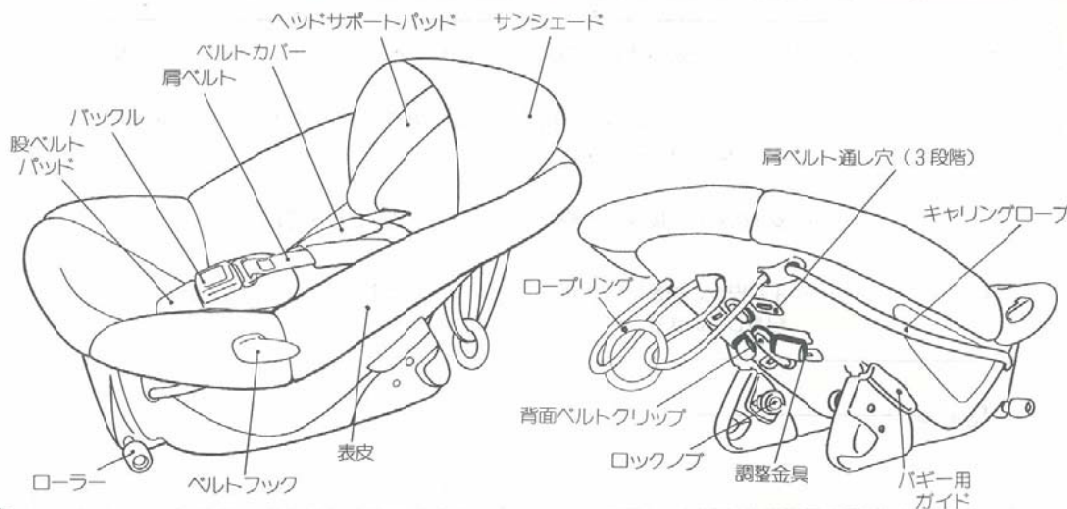
6. ベビーシートに日光が当たるとバックル部などが熱くなり、部品に触れてやけどをするおそれがあります。熱くないことを確認のうえ、ご使用ください。

7. キャリングロープは持ち運び使用時以外、必ず収納状態にしておいてください。ロープが引っかかりケガをするおそれがあります。

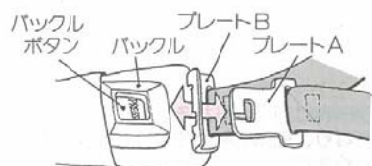
8. 安全のため、走行中はお子様をベビーシートから降ろさないでください。

9. 安全のため、改造は絶対しないでください。

3 各部の名称



4 お子様の乗せ方



- ① バックルのボタンを押して、プレートA・Bをはずしてください。(左図参照)

アドバイス

- 左右のベルトを外側に開いておくと、お子様を乗せやすくなります。

- ② お子様のお尻がシートが一番深い位置にくるように乗せてください。
- ③ プレートAをプレートBに通し、バックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。(左図参照)
- ④ 肩ベルトの位置や長さをお子様の体格に合わせ必ず調整してください。(次ページ参照)
- ⑤ ベルトカバーをお子様の肩にかかるところに調整してください。

注意

- 肩ベルトの位置や長さはお子様の体格に合わせて、必ず調整してください。万 one のとき、ベビーシートが十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。

(完了チェック)

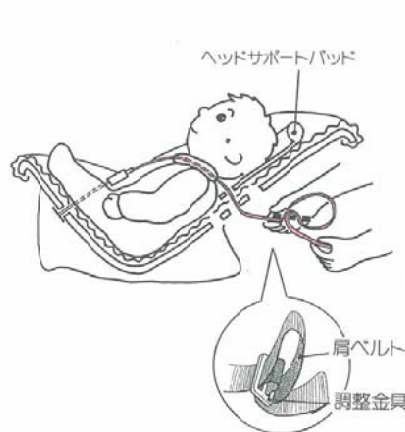
ベビーシートの効果を十分発揮させるため、次のことを確認してください。

- バックルとプレートA・プレートBが確実に結合されていること。
- 肩ベルトがねじれていないこと。
- 調整金具が肩ベルトに正しく付いていること。(肩ベルトを引っ張り確認してください。)

5 肩ベルトの調整

ベルト通し穴の変え方

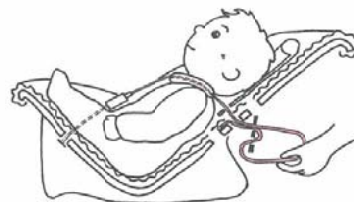
お子様の肩と肩ベルトの高さが合っていない場合は調整してください。



- ① 調整金具を取りはずしてください。
- ② ベビーシートから肩ベルトを抜き取ってください。(肩ベルトはヘッドサポートパッドの穴に通しておいてください。)
- ③ 上図のように、肩ベルトをお子様の肩の高さに最も近い肩ベルト通し穴に通してください。(必ず、左右同じ高さの穴に通してください。)
- ④ 左図のように調整金具に肩ベルトを通してください。
- ⑤ ベルト長さが左右同じになるよう調整してください。(次項参照)

ベルト長さの調整

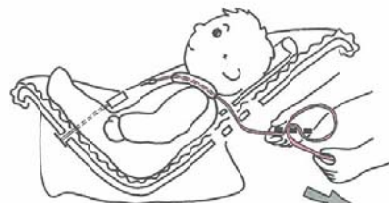
- ① 図のように調整金具部で肩ベルトを引き出し、ゆるめてください。



- ② 図のようにお子様の体と肩ベルトの間に手のひらが入る程度に、肩ベルトの長さの目安をつけてください。



- ③ 一旦、バックルからプレートA・Bをはずし、②で決めた長さになるよう肩ベルトの端を引っ張り、余った長さを取ってください。



- ④ バックルにプレートA・Bを結合し、お子様の体と左右の肩ベルトとの間に手のひらが入る程度かを確認してください。



アドバイス

- ベルトの端末を表皮の裏側に平らに通しておいてください。

注意

- 調整は停車中におこなってください。走行中に行うと運転の妨げになり、思わぬ事故の原因となり危険です。

6 車両への取り付け方



注意

- ご使用前に取り付け可能な座席であることを確認してください。(12ページ)
- 取り付けが難しい場合は無理に取り付けないでください。万一のとき、ベビーシートが効果を発揮しないばかりか思わぬ事故のおそれがあります。
- ベビーシートは進行方向に対して、必ず後ろ向きで取り付けてください。前向きではベビーシートが効果を発揮しないばかりか、万一のとき、思わぬ事故のおそれがあります。
- お子様を乗せたまま車両へ取り付けるときは、お子様が落ちてケガをすることのないよう、十分注意して取り付けてください。
- SRSエアバッグが装備された座席では、使用しないでください。エアバッグの作動によりケガをすることおそれがあります。

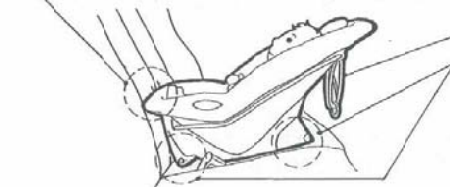


アドバイス

- 車両にアジャスタブルショルダーベルトアンカが装備されている場合は一番下の位置に調整してください。
- 万一のとき、後席の方がより安全と言われていますので、後席への取り付けをおすすめします。

車両シートへの置き方

- ベビーシートの座面先端部が車両シートバックに当たるようにしてください。
(前席の場合はベビーシートの座面先端部が車両シートバックに当たるようにリクライニング調整してください。)



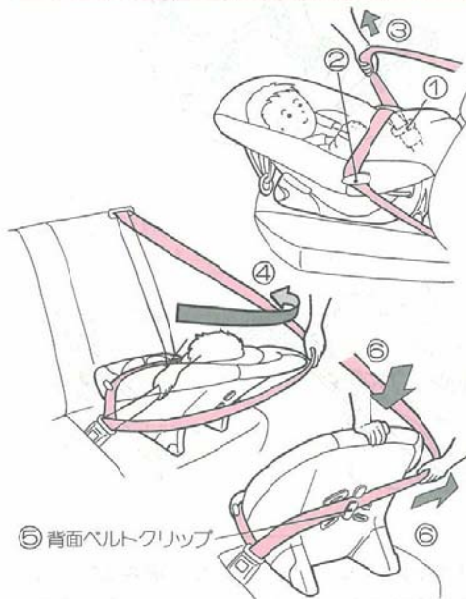
- キャリングロープを収納状態にしてください。(12ページ)
- ベビーシート底面の前後が車両シート座面に接するようにしてください。



アドバイス

- 前席へ取り付ける場合は車両シートを一番後ろまで下げてください。

車両シートベルトでの固定の仕方



- ① 車両シートベルトをベビーシートの上を通して車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- ② 車両シートベルトをベビーシート両側のベルトフックに差し込んでください。
- ③ 車両シートベルトを引き上げ、ゆるみを取ってください。
- ④ 車両シートベルトを全て引き出し、ベビーシートの背面を通過させてください。
- ⑤ 車両シートベルトをベビーシートの背面ベルトクリップに差し込んでください。
- ⑥ ベビーシートを車両シートに押しつけながら、ベルトのゆるみを取ってください。



アドバイス

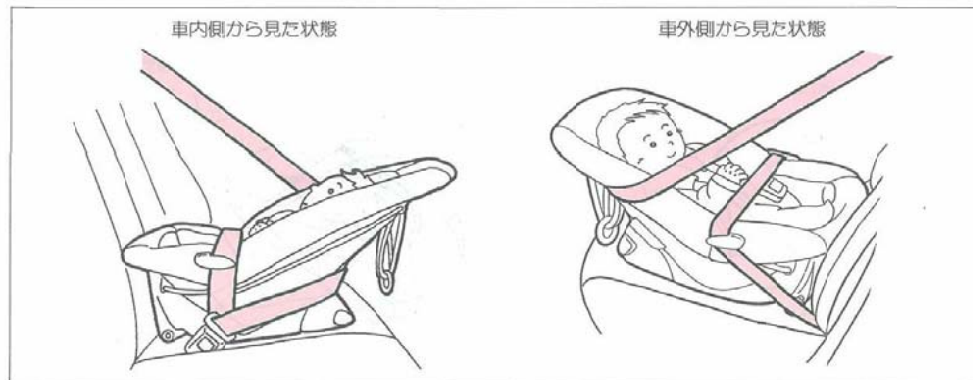
- 車両シートベルトが短く、ベビーシートの背面を通過させるににくい場合は8ページを参照ください。

《完了チェック》

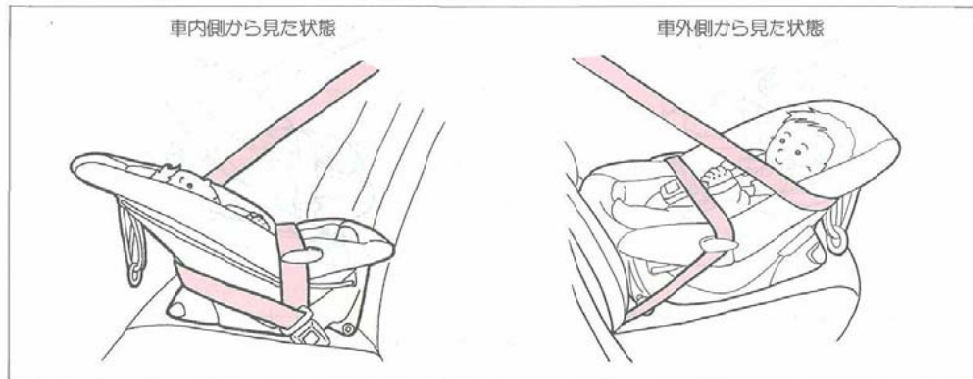
ベビーシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。

○車両ベルトが図の通りになっていること

左側座席への取り付け状態



右側座席への取り付け状態



○ベビーシートに軽く前後左右へ力をかけたとき、確実に固定されていること



注意

- 固定が不十分な場合は前ページ「車両シートベルトでの固定の仕方」の③⑥をやり直し、ゆるみを取ってください。
- 車両シートベルトが短いときや、車両シート座面とベビーシート底面の前後が接しないときは装着しないでください。万一のとき、ベビーシートが効果を発揮しないばかりか、思わぬ事故のおそれがあります。

車両ベルトが短く背面を通過させにくい場合



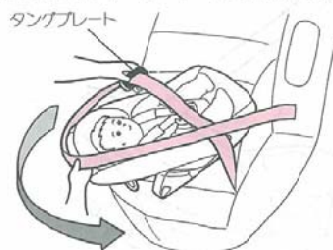
アドバイス

- 前席へ取り付ける場合は車両シートが一番後ろの位置に調整されていることを確認してください。
- 車両にアジャスタブルショルダーベルトアンカが装着されている場合は一番下の位置に調整されていることを確認してください。

- ① 車両シートにベビーシートを斜めに置いてください。



- ② ベビーシートの上に車両シートベルトを通し、図の位置で車両のタンゴプレートを持しながら、車両シートベルトを全て引き出し、ベビーシートの背面を通過させてください。



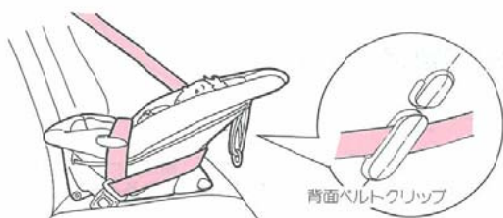
- ③ ベビーシートを後ろ向きに返し、車両シートベルトをベビーシート両側のベルトフックに差し込んでください。



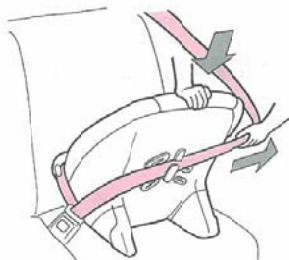
- ④ 車両のタンゴプレートを車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込み、車両シートベルトを引き、ゆるみを取ってください。



- ⑤ 車両シートベルトをベビーシートの背面ベルトクリップに差し込んでください。



- ⑥ ベビーシートを車両シートに押しつけながら車両シートベルトを引き、ゆるみを取ってください。



（完了チェック）

○ベビーシートの効果を十分発揮させるため、前ページ（7 ページ）の完了チェックに従って、必ずチェックしてください。

7 その他

サンシェード

陽の光がまぶしい時などに、ヘッドサポートパッドに取り付けてご使用ください。



注意

- 前席に取り付けた時に運転視界が妨げられる場合は使用しないでください。
- サンシェードの上にタオルなど、ものを載せないでください。
- サンシェードが倒れ、お子様の顔にかぶり危険な場合があります。

ベビーラックとしてのご使用

屋内ではベビーラックとしてもご使用いただけます。



注意

- 斜面や不安定な場所へは置かないでください。
- キャリングロープは収納状態にしてください。

持ち運び方法

車外ではベビーキャリアとしてもご使用いただけます。



注意

- お子様をベビーシートに乗せているときは、必ずベビーシートの肩ベルトを着用させてください。

キャリングロープを使用する場合

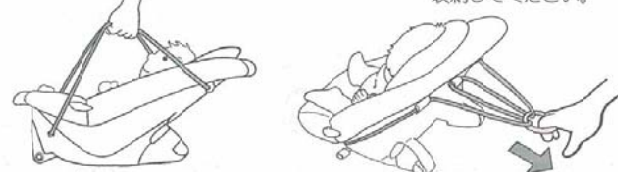
<使用状態>



両側のロープを引き出してください。

<収納状態>

ロープリングを引いて収納してください。



注意

- ご使用後は必ずキャリングロープを収納してください。収納しないとお子様に巻きついたり、周囲の物に引っかかるおそれがあり危険です。

ベビーシートを直接持つ場合



ベビーシートの上下を両手でしっかり持ってください。

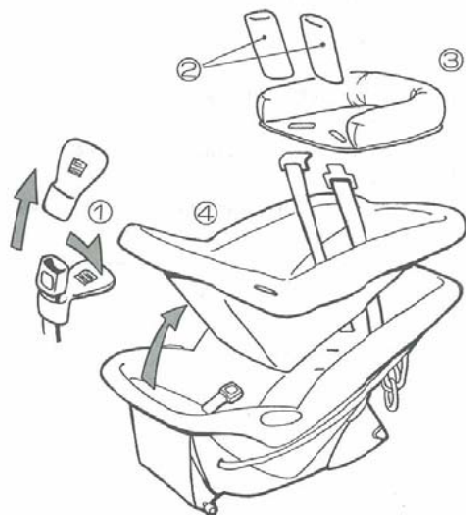


注意

- 表皮だけを決して持たないでください。
- 表皮がずれて両手でベビーシートを支えられなくなるおそれがあり危険です。

8 ベビーシートのお手入れ

構成部品の取りはずし方

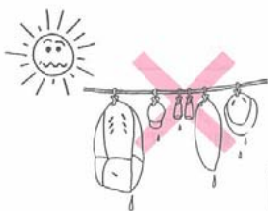


<取りはずし順序>

- ① バックルより、股ベルト/パッドを取りはずしてください。
(マジックファスナーははずし、上に引き抜きます。)
- ② 肩ベルトから、ベルトカバーを引き抜いてください。
- ③ ヘッドサポート/パッドを取りはずしてください。
- ④ ベビーシート足元側から表皮を取りはずしてください。
(頭部側から表皮をはずすと両サイドのベルトフックがはずれにくくなります。)

お手入れ方法

表皮類の洗い方



表皮類

- 表皮
- 股ベルト/パッド
- ヘッドサポート/パッド
- ベルトカバー
- サンシェード

- 中性洗剤で手洗いし風通しのよい日陰に干してください。
- 十分に乾くまで使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は色落ちするので使わないでください。

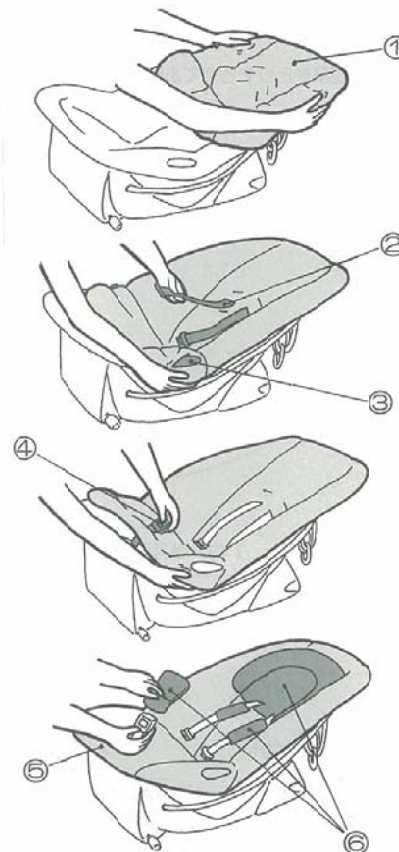
樹脂部品、肩ベルト、キャリングロープのお手入れ

- 中性洗剤かぬるま湯で汚れをとり、水拭きしてから風通しのよい日陰に干してください。
- 十分に乾くまで使用しないでください。
- キャリングロープははずれないようになっています。無理にはずさないようにしてください。
(洗う場合はベビーシートにつけたまま、もみ洗いしてください。)

注意

- ガソリンやベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、肩ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。ベビーシートが十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。

構成部品の組み付け方



<組み付け順序>

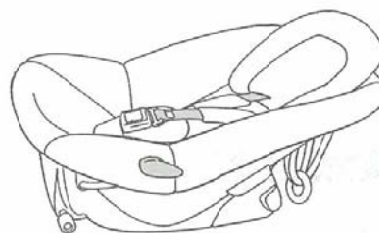
- ① 表皮をベビーシート頭部側より、かぶせてください。
- ② 肩ベルトを表皮の穴に通してください。
- ③ ベルトフックを表皮の穴に通し、表面に出してください。
- ④ バックルを表皮の穴に通してください。
- ⑤ 表皮をベビーシート足元側にかぶせてください。
- ⑥ ヘッドサポート/パッド、ベルトカバー、股ベルト/パッドを肩ベルト及びバックルに取り付けてください。

注意

- ベルトフックが外に出ていないと確実に車両に取り付けられないおそれがあります。

(完了チェック)

ベビーシートの効果を十分発揮させるため、次のことを確認してください。



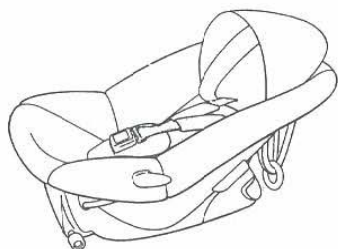
- ベルトフックが完全に表皮から外に出ていること。
- ベビーシートの肩ベルト通し穴と表皮の穴の位置が合っていること。

ご案内

トヨタ純正《チャイルドシートシリーズ》では年令、体格に応じ次の商品を取りそろえております。

お子様のより安全、快適なカーライフにぜひご利用ください。

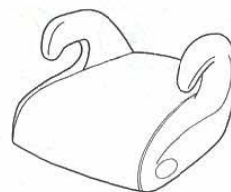
ベビーシート
(生後12ヶ月以下)



チャイルドシート
(6ヶ月 ~ 4才)



ジュニアシート
(4才 ~ 10才)



() 内は参考使用年令

ベビー&チャイルドシートバギー



〈使用例〉



ご不明な点はお買い求めの販売店へお問い合わせください。

トヨタ自動車株式会社

お客様相談センター 全国共通・フリーダイヤル ☎0120-462000

所在地 〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目23の22